

I メイト交流（会話）ガイドライン

2025. 9. 1

目次

1. ガイドラインの目的	1
2. 会話交流の概要	1
3. 会話交流の事例	2
4. 会話交流のヒント	3
5. 会話交流を経験した学生のコメント	6
（参考 1）ツールの準備	8
（参考 2）3 分間スピーチのお題リスト	9

1. ガイドラインの目的

I メイト学生と初めて会話交流を行う I メイト会員を対象に、具体的な進め方や考慮点、経験者の体験談などを共有します。

2. 会話交流の概要

（1）学生の希望の確認

I メイト学生が、募集時に「I メイトとの会話練習を希望する」と回答した背景や、どのような会話交流を行いたいのか、希望を確認します。「3. 会話交流のヒント」などを参考に、実際に交流を行い、学生と相談しながら進めていきます。

（2）利用ツール

Zoom、Google Meet、LINE（ビデオ通話機能）、Messenger（ビデオ通話機能）、WeChat（ビデオ通話機能。中国の学生の場合）などが利用できます。これらは、無料のパソコン版とスマホ版が提供されています。（（参考 1）参照）

（3）会話交流の時期・時間

学生と相談の上、時期や時間を設定します。学生の負担を考慮し、最初は 1 回あたり 30～40 分程度、学生の試験期間や学校の休み期間なども踏まえて柔軟に対応します。

中国は1時間、タイ・ベトナム・インドネシアは2時間の時差があるため、時間を指定するときは両国の時間を記載して確認します。(例：中国時間の夜7時、日本時間の夜8時等)

(4) 会話の内容(テーマ)

学生が話をしたいテーマがあれば、できる範囲で組み入れます。もし、具体的なテーマが見つからない場合は、学生があまり準備をせずに話ができるように、(参考2)の「3分間スピーチのお題リスト」などを活用します。

(5) 会話交流の進め方

例えば、最初に学生から3分程度で何かのテーマについて話をしてもらいます。その内容を受けて、会員から質問したり、逆に学生からの質問を受けたりしながら、会話を進めます。最後に、次の交流の日時を相談します。

(6) 会話交流とメール交流

まずは、会話の機会を作り、うまく会話が続かなくても構わないので交流を行ってみます。もし、会話交流が続かなければ、学生の意見も聞いてメール交流やチャットのやり取りに切り替えても構いません。会話交流とメール交流を併用しても結構です。

3. 会話交流の事例

・清華大学、貿易大学、タマサート大学の学生達と、常に3~4人同時に交流していました。初めの数年はメールだけの交流でしたが、メールを書くのはかなり時間的にプレッシャーがあり、だんだん頻度が少なくなる傾向がありました。そこでSKYPEを使い始めました。

・タマサート大学、貿易大学、パジャジャラン大学の学生と交流をしていたので、「他国のIメイト学生も一緒に話し合ってみない?」と持ち掛け、4人の会話交流が実現しました。約1時間半、用事のある人は退席もOKにし、2~3か月に1度くらい、1年ほど続けました。

話題は重苦しくなく、国が違っても差し支えない事にしました。話し合いたい記事のPDFを添付で送ったり、学生たちから貰った写真を他の学生に紹介したり、ベトナムで好評な日本のアニメやタイのアニメも字幕か吹き替えかなどなど、話題はそのとき任せでした。

・清華大学の学生とWeChatのビデオ通話機能を利用して、毎週土曜日の日本時間17時から30~60分間、話をしています。時々互いの都合でチャット連絡の上、変更します。『日本昔話』をもとに話をし、日本の文化・習慣・物の見方など、話の中から話題を提供して日本人の一般的な考えや中国と同じ点・違う点などに付いて話し合います。近況や双方の話題があれば話をします。こちらの話が分かり難い時は、Iメイト学生からチャットで文字を確認してもらい、会話を進めています。

・4大学の現役学生4人、OG1人、合わせて5人と時々会話交流しています。それぞれ、3か月に1回くらい。LINE、Messenger、WeChatなど先方の希望するツールを利用。1回当たりの会話は1時間くらいです。特にテーマを指定せず気楽に、色々な話題、特にその季節に合わせた話題、旅の話、学校での話、仕事の相談、食べ物や文化の話題も上がります。Iメイトの友人が参加することもあります。

・貿易大学のIメイトは日本語の会話が苦手とのことで、LINEで2週間に1度、30分の対話を提案しました。最初は沈黙の時間が長かったですが、留学経験のある友人が加わり、今では毎週1時間以上、まるで友達同士のような会話を楽しんでいます。日本語会話力に大きな開きのある2人の学生ですが、困ると2人でベトナム語の会話が始まり、助け合いながら日本語で返答してきます。私は2人のしゃべる機会が平等になるように気を付けています。

この話を聞いたあるIメイト会員から「加わりたい」との申し出があり、今は4人になりました。Iメイトの話す時間は短くなりましたが、男性の話し方を聞く練習にもなり、これから就職を考えているIメイト学生にはいいだろうと思います。私が日本語を教えるより、むしろ私がベトナムのことをいろいろ教えて貰っています。時には1時間半に及ぶこともあり、スマホの電池切れが続き、Iメイト学生からの提案でGoogle Meetに変更しました。

4. 会話交流のヒント

（過去に会話交流を行った会員、及び2025年Iメイト交流実態調査の「会話交流の感想、工夫した点、困ったこと」の回答から抜粋）

（1）利用ツール・オンライン環境

・PCの「ZOOM」を使っています。ZOOMの画面共有機能で、PPTで作成したスライドを利用できます。また、パーソナルミーティングを設定し、相手にIDとパスコードを伝えれば、都度、招待用URLを送る必要がありません。

・Zoomは画面共有ができ、わからない言葉はチャットに記入すると相手はすぐに辞書で調べます。こちらもZoomの扱いに慣れているので使いやすかったこともあります。

・その時々で接続が悪かったりバッテリー切れで抜け落ちたり、ハードの問題も起こり得るので、慌てずゆったりと構えましょう。また、フリーズして中断しないよう、インターネット速度が、ある程度速い場所で行う必要があります。

・Zoomはインターネットの接続環境が悪いとフリーズすることがありますが、LINE、Messenger、WeChatのビデオ通話は、比較的場所を選ばずに会話が可能です。画面共有はできませんが、わからない言葉はチャットでやり取りし、文字で確認することもできます。

（２）会話の内容・テーマ

・簡単なテーマ、3 分間スピーチで使ったようなテーマを 1 つか 2 つ伝え、それについて話す準備をしてもらうといい会話になります

・学生のレベルの合わせた話題を選ぶことが肝要です。また、肩の力を抜くために、冒頭、「天気」や「昨晚の夕食の献立」など、彼らが答えやすい質問から始めるのも効果的です。

・会話のレッスンと自由会話は違い、自由会話ではテーマを決めます。恐らく、学生は日本語を話すチャンスが欲しいので、日本語を教えるのではなく話し相手になる感じでしょう。

<例>

1. 事前にテーマ（日本地図、四文字熟語、日本の習慣等）を決めています。
2. 日本企業のインターンシップがあるとのことで、模擬面接を行いました。目的がある会話練習はより積極性が増すと感じました。
3. 日本語での発表の前にチェックをしました。メールでの交流は文法や表現を直してあげることが中心ですが、発表の練習は、特に発音を直しました。
4. 本人がInstagramに UP している情報を中心に話を展開していくと、具体的な観光の説明や食べたものの感想など一緒に写真を見ながら話が広がります。

・テーマを決めない場合は「前回から今日まで、学校・寮・家庭であった出来事」「スマホやニュースで気になった話題」などを尋ね、なかなか話が出なかったらこちらから話します。小さいことでも気が付いたこと、見たり聞いたりしたことなど学生も話すようになります。

・日本語の書籍等を用いて読み合わせを行い、その内容について質問を行う方法もあります。

<例>

1. 星新一のショートショートを読み合わせをしています。質問が頻出するので、日本語の言葉づかいの難しさをいまさらながら認識させられています。
2. 本人の好きなアニメ「鬼滅の刃」をテキストに試行してみる予定。私は動画で何度か見たが、漫画で見るのは初めてなので、どうなるか、楽しみです。

（３）会話交流のコツ・考慮点・アドバイス

①やさしい日本語で

・会話練習のためには、何よりも「やさしい日本語」で話し掛けることが大切です。「敬語」や「方言」「カタカナ言葉」「慣用句」「オノマトペ（擬音・擬態語）」は極力、使わないようにします。『ところで』とか『つまり』といった「接続詞」の多用も控えます。

・殆どの学生が JLPT「N3」「N4」(*)だと思いますが、JLPT のレベルと話す能力は別物です。(*)「チュウ太の道具箱」という検索サイトで、漢字や単語が JLPT のどのレベルで学ぶのかを確認できます。

②ゆっくり話す

- ・こちらからの発話は、できるだけ短く区切って話します。あまり長文になると、学生は話に追いついていけません。

- ・会話のスピードは、最初は通常の 80%程度のゆっくりした速度で始め、相手の反応を見ながら徐々にナチュラルスピードに戻していきます。ただし、あまりスローテンポでも会話のリズムを損ない、かえって不自然な会話になってしまいますので、ほどほどが肝心です。

③学生の話聞く（日本人が話し過ぎないように）

- ・会話交流の主役は学生なので、彼らの発話を中心に進めます。気持ち的には、学生が全体の 70～80%の時間を使うように発話バランスを考えることが大切です。（70～80%と思っても、結果的には 50%程度になってしまいますが…）

- ・間違ってもいいから、口に出して試みるのが上達への近道です。小さな子供に、うん、うんと言いながら辛抱よく聞き、最後に必要な箇所だけ簡単に正しく言い直すという経験は、どなたもお持ちだと思います。なるべく学生の話したいことを聞く、それには話の流れのままがいいと思います。

④質問やフィードバックの工夫

- ・相手が話し終わるまで待ち、意味が分からなければ話した後で、別の言葉で確認します。相手の理解度を見ながら質問し、わからない言葉はチャットで共有します。

- ・学生が答え易いように質問の仕方を工夫します。また、質問に対する答えを急がせてはいけません。助け舟を出すこともなるべく控えます。

- ・会話の流れの中で、細かい文法の違いなどに気を配ることは必要ですが、発話の途中ではなく、最後にまとめて指摘・修正します。また、学生がアニメや漫画で覚えた若者言葉を使った場合は、大人との会話には使わないように伝えます。

- ・出来るだけ直さず 1 つか 2 つ、ポジティブで印象に残るフィードバックを工夫します。

⑤継続のコツ

- ・最初に基本的な回数（月に 1 回・2 回、週に 1 回など）を決めておくのも一つの方法です。会話だけではなくのメール交流も行う場合、その頻度も考えて決めるといいでしょう。

・交流の最後に、次回会う日を決めておくと、いつの間にか連絡が途絶えることはありません。当日にリマインドのメッセージ（例：「今日も中国時間 14 時、日本時間 15 時から楽しみにしています」）を送ると確実です。

・面白いと感じたら、次もやりたいと思うはずです。話題が合えばいいですが、話が弾まなければ続かないかもしれません。続かなくても気にしないこと。相手が積極的であれば対応すればいいですが、日本人のほうが積極的になると学生は負担に感じるかもしれません。

・学生たちは、宿題や予習で手一杯のようなので、私たちと楽しく息抜きできるようにという気持ちで。

・「上から目線で教える」のではなく、I メイト交流のスタンスは「友だち目線」です。動機を高める事が出来れば、自助努力で会話力を向上させられるだけ学生さんは優秀だと認識する事が大事だと思います。

・もし、「1 対 1」で会話に困る場合は、学生の友人、日本の知り合い（家族など）を交えての「2 対 1（3 人）」の形式にしてみることも効果的です。

<例>

1. UNPAD を訪問した時に同席した友人にも LINE を使った動画通話に参加して頂き、盛り上がりました。

5. 会話交流を経験した学生のコメント

（2025 年 I メイト交流実態調査で学生が回答した「会話交流の感想、工夫した点、困ったこと」から抜粋）

（1）感想

・大学で日本語の勉強をしていますが、会話練習をする相手が少ないため、I メイトと会話練習をできるのは日本語で話す自信が出られるので、とても勉強になります。

・たくさん勉強になります。会話力も少しずつ確実に上がる気がします。

（2）リラックスして

・I メイトはいつも親切で優しく、リラックスできる雰囲気を作ってくださいるので、あまり緊張せずに自然に話すことができます。

・友達同士で気軽に話すみたいな感じで、リラックスできます。

（3）しっかり聞いて

・最初、私は話すことが苦手ですから、日本人と話す時勇気が全然ありませんでした。しかし、I メイトはいつも私が何か伝えようとしているかをしっかり聞いて、私がかうまく話せない日本語を直してくれました。

（４）ゆっくり話して

- ・時々、Ｉメイトの話があまりわからない。もっとゆっくり話してほしいです。
- ・私の日本語があまり得意ではないので、時々うまく話せず困ることもありました。わからないときは、ゆっくり話してもらったり、聞き返したりして工夫しました。

（５）話題について

- ・日本について質問したり、日本の文化を学んだり、自国の文化を紹介することもできます。
- ・日本の社会的な課題についての知識も得られます。
- ・会話練習というより、喋って生活をシェアします。例えば、最近何な面白いことが起こったか、仕事が順調に進んでいるか。
- ・会話内容が難しいと、うまく会話できません。

（参考 1）ツールの準備

（１）Zoom

- ①Zoom をパソコン・スマホに導入（インストール）します。
- ②Zoom ミーティングを設定し、会議案内を I メイト学生に送ります。

Zoom でミーティングの予約～開催方法（参考動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=TcaljqjHk-o>

- ③ 予定した日時に、Zoom 会議を開始します。

（２）Wechat

- ①Wechat をスマホに導入（インストール）します。
- ②Wechat のアカウントを登録します。

Wechat のアカウント登録方法（参考動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=qm9o23xcjp8>

- ③ I メイト学生とつながります。（チャットができるようになる）
 - ② で登録したアカウントを学生に伝え、学生から連絡してもらいます。

- ④ビデオ通話機能を活用します。

<https://www.tanny-side.com/wechat-web-meeting/>

WeChat は、スマホでアカウントを登録した後、パソコンにも導入できます。ビデオ通話機能で会話をしながら、学生が聞き取れない、理解できていない「単語」や「文章」を、チャット機能を使って日本語で送り、確認することもできます。

（参考 2）3 分間スピーチのお題リスト

（2024 年清華大学訪問時のスピーチコンテストのお題より）

- ・ 20 年後のあなたは？
- ・ あなたの自慢話
- ・ 新しく始めたいこと
- ・ 今までで一番大きな失敗は？
- ・ 身近な人でユニークな人を紹介してください。
- ・ 私が応援している（推し）の人
- ・ 私がお勧めする中国の観光地
- ・ 私の尊敬する人物
- ・ 日本の作家で好きな人とその作品
- ・ 日本の「かわいい」文化について
- ・ あなたの感じる'80 后との世代間ギャップって？
- ・ 男女平等ではないと感じる時はどんな時？
- ・ 自分が、日本語が上手くなったと思う時はどんな時？
- ・ 日本語の難しい点は？
- ・ 中国の習慣と日本の習慣の違いをどう考えるか？
- ・ あなたが日本に興味を持ったきっかけは？
- ・ 最近のあなたのビッグニュースは何ですか？
- ・ 将来やりたいことは何？
- ・ 自分をアピールするとしたらどんなところ？
- ・ 日本のどんなところに関心を持った？
- ・ あなたの小さな幸せは？
- ・ までの人生で一番辛かった事、そしてそれをどう克服したか。
- ・ 今までで一番感動した出来事
- ・ 日本人の不思議なところ、驚く点